

ネギ(夏扇パワー)



→3年連続1等賞を獲得した
白神ねぎ

経営規模
 ○水ね ぎ
 ○水ね ぎ
 稲 ぎ
 ……
 5.5 1.5
 ha ha



今野 高道さん

司さん

(能代市成合)

苦労を惜しまず

愛情たっぷりのねぎ栽培

平成25年から27年まで、種苗交換会の農産物展示「ネギ」部門において、1等賞(秋田県知事賞)を3年連続で受賞した今野高道さんは、今回の種苗交換会でその功績を称えられ、顕彰者として表彰されました。

兼業農家の長男に生まれ、幼いころから農業に携わってきた今野

さんは、62歳で当時勤めていた会社を退職し、専業農家としてスタートし、今年で11年目を迎えます。始めた当時はメロンやトマト、きやべつなど様々な農産物を手掛けていましたが、現在は水稲とねぎの複合経営に切り替え栽培を営んでいます。

ねぎの栽培については、病害虫防除の徹底と堆肥による土の活性化を基本としながら、これまで培った経験と知識を糧に作業に精を出しています。「苦労した分、いいねぎができる。その時のうれしさ、喜びは格別です」と今野さん。今年には黒い斑点が葉を覆う「べと病」が多く発生したそうですが、ねぎを守るための細やかな管理や防除のおかげで心配された被害も少なかったそうです。

過去には、最高賞の農林水産大臣賞も受賞したことのある今野さんですが、3年連続まであと1歩のところまで阻まれてきました。今回、顕彰を受けて「3年連続1等賞を取るのには本当に大変なものだと改めて感じた」と話します。現在は、息子の司さんに自身の経験や知識を伝えながら作業に励んでおり、司さんも今年の種苗交換会

で1等賞を受賞し、父から子へ、ねぎの栽培技術は受け継がれています。

今後について今野さんは「息子が跡を継いだら、これからも息子と2人で高品質な『白神ねぎ』を作っていきます。また、ねぎの栽培は馬力のある若い人にどんどん挑戦してもらいたいのです。周年栽培ができ、市場での評価も高いので、今後ますます需要が増えると思います。研修で栽培方法を学び、若い力で『白神ねぎ』をますます有名にしていってほしいです。」と笑顔で話してくれました。



↑作業に励む今野さん